

ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース シラバス

開催方法 (○で囲む)	1 ライブ 2 オンデマンド
※配信日時 (ライブの場合)	
科目名	創薬8 糖尿病治療薬開発
担当教員	富山大学 薬学部 教授 笹岡 利安 氏
授業の内容	糖尿病に本邦では約 1000 万人が罹患しており、網膜症、腎症、神経障害の糖尿病細小血管合併症および虚血性心疾患や脳血管障害などの動脈硬化性疾患の発症と進展の防止が課題である。糖尿病治療においては、血糖、体重、血圧、脂質代謝を包括的に良好なコントロール状態とすることにより、健康な人と変わらない寿命の確保と日常生活の質（QOL）の維持が目標となる。2 型糖尿病の治療薬として現在多くの種類の経口血糖降下薬が臨床利用されており、病態に応じて使用して、インスリン分泌を促進したりインスリン抵抗性を改善することで治療効果を発揮する。これらの経口薬やインスリン製剤を用いることで、約半数の 2 型糖尿病患者において細小血管合併症の発症と進展を防止するための HbA1c の目標値である 7.0%を達成している。さらに肥満糖尿病治療において治療の向上を目指すため、低血糖が少なく、体重増加を抑制して減量が期待でき、慢性腎臓病、心不全、および動脈硬化性疾患の発症進展防止効果のベネフィットを有した薬剤として SGLT2 阻害薬と GLP1 受容体作動薬が注目されており、本薬剤の作用メカニズムと臨床エビデンスに基づく今後の治療展望について解説する。
学生の到達目標	糖尿病の治療の現状と今後の治療の展望につき理解する。
キーワード	糖尿病、経口血糖降下薬、SGLT2 阻害薬、GLP1 受容体作動薬
その他、受講上の注意事項や学習上の助言など	糖尿病治療ガイド 2022-2023, 日本糖尿病学会 編・著, 文光堂を参考にすることが望ましい。